

お西さん

2001
3-4

「旅」

「人生は旅」昔から、よく人生を旅にたとえる話を聞く。旅にも、色々な旅がある。汽車の旅、船の旅、さすらいの旅、一人旅、二人旅――。

人生の大半を、すごす時、ふり反れば本当に「旅だったナー」の実感に出会う。

二十代の旅、三十代の旅、四十代の旅、いや五十代、六十代の旅その何れもが旅の経験が違っていた筈である。同じ景色をみても感慨が違う。雪は白かった。雪景色は美しかった。雪は大変だ。雪には夢がある。雪は空から降る。雪は下から舞い上がる。それぞれの時代に経験をして来たとらえ方であろう。たがいに幾十かの駅を通過してきた。それぞれの駅で人と出会い、又別れ、数多き友も出来た。にぎやかな車中もあった。はなやかなショーも目にして来た。また一人旅になった事もあった。

しかし最終駅到着までは、そう、今まで程の多くの駅を通過しない事でもあろう。

あわてず、ゆるりと景色をみる目も養って、味のある一日二日の旅をつづけたい。

たまには、汽車を降りて、次の駅まで歩く旅もよからう。人に交つて旅のつれづれに「夜話し」でも聞いてゆく余裕もよからう。

お寺で二息つくのも味なもの！

輪番 鷺山 諦住

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647



函館・大沼・駒ヶ岳

本願寺函館別院

蓮如上人五百回遠忌法要 ◆期日◆5月10日(木)

函館別院創建百四十五周年記念法要 ◆期日◆5月11日(金)

崇敬寺院門信徒物故者追悼法要(御親修法要)

そうきょうじいんもんしんとぶつこしゃついでうほうようごしんしゅうほうよう

本願寺第8代蓮如上人ご在世のころは、うち続く災害や政治の混乱が極まり、戦国時代につながっていく時代でした。大きく揺れ動く時代の中で、上人のご生涯もまた波乱に富んでおりました。上人は、親鸞聖人のみ教えを誰にでも分かるよう、やさしくお説きになりました。

その結果、全国至る所にお念仏をよろこぶ人々の声が広がり、本願寺のゆるぎない礎を築いていただきました。



平成10年(1998年)は、蓮如上人の500回忌にあたり、京都本願寺では100日間にわたり厳粛かつ盛大に大法要が修行されました。

函館別院においても5月10日蓮如上人500回遠忌法要を修行し、上人のご遺徳を讃仰する法要をおつとめいたします。

また11日には、函館別院創建145周年記念法要・崇敬寺院門信徒物故者追悼法要を京都・ご本山より御門主様をお招きさせていただきおつとめいたします。本願寺函館別院は、安政4年(1857)5月10日、寺社奉行より道場設立の許可が下りました。公許の日は10月24日で、



以来「本願寺派北海道開教の日」とされています。この寺院建立の公許を得るために度々交渉に当たられ、ご尽力をいただいたのが広如上人(第二十代)でした。たくさんの方々の努力が実り、今こうしてお念仏の声が相続されていることを慶ばせていただくと共に、崇敬寺院の門信徒物故者追悼法要のご縁にて、亡き人を偲びつつ尊い法縁に遇わせていただきます。

お知らせ

5月1日(火)~15日(火)迄、月参りをお休みさせていただきます。

函館別院「蓮如上人五百回遠忌法要」「函館別院創建百四十五周年記念法要」

「崇敬寺院門信徒物故者追悼法要」にぜひお参りください。

また法要に際し皆様のご協力をお願いいたします。

よろこびこそ即如御門主

そく によ ご もん しゆ

久々の函館へ

京都のご本山より、御門主様を函館別院にお招き致しました。五月十一日には法要に先立ち、帰敬式(おかみそり)が行われます。

◎帰敬式(おかみそり)とは…

一般の人が真宗に帰依(帰命)したことを証するために行われる儀式です。御門主様から頭髮に三度おかみそりをあてて頂き剃髪の儀式とし、法名が授けられます。

◎法名とは…

法名は、仏弟子であることをあらわす名前で「釋○○」と二文字です。上に「釋」という字がつけられているのは釋尊のお弟子という意味です。

※浄土真宗では授戒の作法がないので、戒名とは言わず「法名」と申します。



受式体験談

平成六年に御門主様が函館においでになられたときに、おかみそりを頂きました。私ども家庭はもとより母が特に門徒として常に聴聞をされていましたが、私もその感化を受けてお寺のことを身近に感じていました。母は百歳で亡くなりましたが、七十歳の時に、法名を頂いたそうです。別院から案内を頂き、帰敬式を受けさせていただきました。素晴らしい雅楽の音色と、速くは松前や室蘭から来られた方々の本堂三杯に響き渡るお念仏の声、別院の本堂の厳かな雰囲気と緊張の中で御門主様からおかみそりをあてて頂いたときには、本当に感動しました。一度お目にかかりたいと思っていた御門主様にお会いすることができ、またお話も頂き、本当に有り難いことでした。そして浄土真宗の門徒として、仏弟子として、おみのりを受け継いでいかなければと心新たにすることを鮮明に思い出します。浄土真宗では、自分の力で励む行や戒を必要とせず、阿弥陀様の願いによって必ず仏にならせていただくということをお聞かせいただき、ありがとうございました。法名は、亡くなったときに頂くのではなく、おかみそりを受けて仏弟子となった時にいただくのです。五月に御門主様が函館に再びお越しになられることをお聞きし、ぜひお参りさせていただきたいと思っております。

(市内在住の方より)



●心の暖房

末広町にお住まいの吉田さんはマンションの2階に住んでいます。先日お伺いすると草履の裏に付いた雪の為、ロビーでもものすくなくツルツル滑ってやつの思いで玄関前にたどり着きました。

玄関前で待っていてくださった吉田さんは「大丈夫ですか？」と声をかけてくださり、草履の裏に固まっていた雪を手で取ってくださいました。

冬の寒いお参りに足元も心も温まる優しい心使いに感謝感謝の一日でした。

高 倉

●命の現場

年が明け、しばれた日が続いたせいか、めったにないことに体調をこわし、病院にかかりました。受付して「しばらくおまち下さい。」といわれてから二時間。「やっと呼ばれたあ」と思い、診察室に入ってから二十分。その後「こちらで上着を脱いでおまち下さい。」と言われ、「よおっしゃ」と思ってから十分。待つて待つて先生に診てもらったのは五分の診察でした。でもそこで働く先生や看護婦さんの動きは、機敏で、さすが「命の現場」で働く人は、力のみなぎっていました。

命いただいた以上、「生・老・病・死」の四苦があります。病院という「命の現場」はたしかに必要でしょう。しかし、もう一つ、お寺という「命の現場」も大切であることに気付かされます。命終えてから世話になるお寺ではなく、命いただいたから「そのお寺が」

吉 村

●気づかい

私達がお参りに伺う際、必ず持参するものがあります。それは経本入れです。

先日東山二丁目の松本さん宅へ月参りに伺ったとき、おつとめの後、奥様が「この経本入れの寸法を見せて」とおっしゃられ、なんと、今度それを作ってあげると言っていました。確かに自分の経本入れを見てみると、汚れていたり、破けていたりして、私の気付かないところまで気にかけて下さり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。「いつできるかわかんないけど待つてね」とおっしゃってましたが、そのお気持ちに本當にうれしかったです。函館に来ましてもうすぐ二年、御門徒の皆様毎日お育ていただいていると思う日々であります。

上 野

●立場

豊川町の勝木さんのお宅へお伺いしたとき、お孫さんを抱きながら3ヶ月になるんですよとお話している間も、上のお姉ちゃんが赤ちゃんに話しかけたり、頭をなでたりと相手をしている姿がかわいくて幸せな時間でした。

「兄弟が出来たとき自然とお姉ちゃんに成っている、私達もその時はわかっているつもりでも、その年その立場になってわかることがいっぱいあるんですね、若い頃にはついおばあちゃんと衝突もしたけれど、今になってわかってきました」と話して下さいました。自分の考えだけにこもらずに、いろいろな意見や物事を受け入れていける心を持ちたいと改めて感じさせていただきました。

神 田

●与生

今回は本通二丁目にお住まいの北山榮雄は、今は廃止となった青函連絡船の船長さんだったそうです。北山さんの乗られていた船は、現在は長崎県へ行き、観光施設をかねたホテルになっており、北山さんは度々長崎に呼ばれて昔の話をされているそうです。「余生を送る」とは「与生を送る」とだという話を聞いたことがあります。与えられた命を生きたことなのと素晴らしいことか！函館と長崎を行き来される北山さんの姿、ホテルとして新たな命を与えられた船の話聞いて、つくづくそう感じさせていただきました。

石 神

●幼稚園バス

日吉二丁目にお住まいの三枝さんは、今度中学二年生と小学三年生になるお孫さんがおられます。

お一人とも龍谷幼稚園の卒園生で、幼稚園のバスにゆられて毎日通園していたそうです。

龍谷幼稚園はバス二台で市内の子どもたちを送り迎えしています。二人の運転手さんは、子どもたちに笑顔で挨拶し、子どもたちも又、元気いっぱい挨拶します。ピンク色のかわいいバスにゆられて、今日も子どもたちは元気いっぱい通園してきました。

八 木

●お勤め

上磯追分二丁目にお住まいの西川京子さんのお宅にお参りに寄せていただいたことでもあります。玄関のドアを開けると娘さんが出てこられ、中に案内していただきました。すると、西川さんが一人でお仏壇に向かつてお勤めをしておられました。私のことに気付かれ、ビックリされた後恥ずかしそうにしておられました。お寺からお参りに寄せていただくときだけでなく、一人の時でも、お勤めされている姿を見せていただいたときに、西川さんのお宅は、本當にお念仏の香るお宅だな、と感じました。まだまだ寒いのでお身体に気をつけて下さいね。

毛 利

●強く明るく

今回は上湯川にお住まいの田島さんをご紹介させていただきます。

田島さんは、お寺でも役員をして下さっている方なのですが、本當にありがたい方で、私がお参りにお伺いしましたら、いつもいつも笑顔で絶やさず、にこやかに迎えして下さいました。またお孫さんもよく一緒に参りしてくれませんが、本當に元気よく明るい子です。私はそんな田島さんの家族を見てると、とても心があたたまる気持ちで一杯です。浄土真宗の生活信条の二つに、「尊い名をとなえつつ、強く明るく生きぬきます。」と言うことがありますが、まさにそのことが私の心の中で思わずにはおりません。

石 黒

●この家でも寒さ談義●

初めての北海道、お参りに行ったほとんどのお家で言われたことが、「大変ですねーこの時期の転動はもつと寒くなりますよ。」
 年が明けるとみなさんそろって「雪道は慣れましたか?滑るでしょう。運転には気をつけて。今年はいつもとより雪が多くて寒い。」
 等々。この時期、天候のこと以外に何か話はないかと思いつつ、「寒さ」の話になってしまふ今日この頃です。寒い中、御門徒様方のあったかい言葉、何度聞いてもお念仏のように有り難いものです。

脇坂

●見たこともない世界●

美原4丁目の佐々木さんからエベレスト山の写真を頂きました。じくじくした主人さんの仲間の方が去年登頂され、撮影された写真です。見た瞬間、ただただ感激するばかりでした。世界で最も高い地に、今まで見たこともないような青で彩られていた空があったからです。

生きていけば、分からないことばかりでつらくなることもあります。でも、分からないからこそ素晴らしいと思えることもあるのだと、私の部屋に飾られたこの写真は教えてくれています。

平田

乙女のつづがやき 《事務員日記》

御親修法要まで後二カ月となりました。別院の職員として御親修法要に携われることは貴重なことです。忙しく大変なこともあります、教えられ学んだり出来るいい機会でもあります。



そして御門徒の皆様が集まり、本堂にお念仏が響きわたるとき、共に喜びを味わえることでしょうか。

山崎

第5回

報告会
 ものぼのお念仏の集い

1月24日・25日 湯川観光ホテル

24日 クイズ説法「ホントに門徒?」・法話、懇親会
 25日 演劇説法「今ある命を生きて 脳死と臓器移植の狭間で…」・法話



函館のお寺さんによるこの集いも早5回目。今年はこんな感じでした。

会場に駆けつけると、クイズの最中。あ、解答者席に我が神田副輪番の姿が!……なぜスイグルミをお召しに?なのに、問題に対して、見事な語り口で適切な解説を加えている。ああ、目に映ることと耳に入ってくることで違いすぎる。他の解答者のお寺さんも、わざと言っているはずの嘘の解説が、すごい説得力。お寺さんの言葉、恐るべし。

夜には懇親会が開かれ、楽しい一時を過ごしました。

次日、演劇。別院からの出演者は石神・八木・小池・私の4名。開演前にまず変身。よし、メイクもバッチリ。「どっから見ても、チョーいけてるコギャルってかんじ〜。」あ、あっちには鈴木その子も真っ青の真っ白な看護婦が。…石神さん…。さあ開演。練習の成果を十分に発揮しよう……って、ちょっと、そんなセリフ聞いてません。アドリブに次ぐアドリブ。ついていけないよー。でも観客のみなさん大爆笑。そうか、やっと分かりました。あの練習はすべて、このアドリブのためだったんですね。

たくさんおもしろ

い出し物がありながらも、ちゃんと法話で大切なことも学べた集いでした。

ああ、来年も楽しみだ!!

(平田)



往々人 来る人

【お世話に

なりました】



この度、二月十日をもちまして熊本の人吉別院へ転勤することになりました。

思ひ起せば初めて函館へ参りましたときは何も分らないまま、不安でいっぱい、ただ戸惑うばかりでした。そんな私を、御門徒の皆様方は家族のようにあたたかく迎えて下さり、見守って下さいました。

僅か二年三ヶ月という短い間でしたが、この函館の地で多くの方々に出逢い、支えられ、お育てを頂きました。今は「おかげさま」の思いの中、感謝の気持ちでいっぱいです。本当に爽りある時を過ごさせて頂きました。

懐かしい思い出もいっぱい、大変名残惜しくもありますが心機一転また人吉の地でお念仏の相続につとめてまいります。皆様どうぞお身体を大切に。お元気で。本当にありがとうございます。

石神正之

【ごらっしや〜い

函館へ】



二月十日付をもって、熊本県の人吉別院より参りました。西村晃寿と申

します。どうぞ宜しくお願い致します。

このたびは、南九州から北海道へと、突然の転勤となり、あまりの寒さに大変驚いています。体調を崩すことなく、一日も早く函館の空気に染まっていきたいと思っています。

現在、私は体重が99キロあります。(身長は169センチ)見た目は相撲取りですが、実際はテニスプレイヤーです。健康のためには、ダイエットをしなければならぬところですが、函館の美味しい食べ物でさらに太ってしまいそうなので、気をつけなくてはならないと思っています。

人吉は、妙好人伝助さんの生れた、かくれ念仏の地でありました。(声を出してお念仏申すことができなかった)函館はどうでしょうか。皆様と出遇わせて頂くことを心待ちにしています。

西村晃寿

【よろしくお願い致します!!】

初めまして。この度、味方さんのお仕事を引き継ぐことになりました。

初めてお話をいただいたときに、大丈夫だろうか、私に出来るだろうかと、とても不安でした。味方さんに「大丈夫、生懸命やっていると心が通じるものよ。あまり肩に力を入れずに頑張つてね。」と、あたたかい励ましの言葉をいただき、少し心が軽くなりました。

今は、こうして居場所を与えてくださった御輪番様をはじめ、職員の皆様へ感謝をしております。

子供の目覚まし時計を借りて毎朝助けられています。まだ星空が輝いており、うす紅色の空は、とても美しいなあと思ひ、心もいつもこの明け方の空のように穏やかでありたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

佐野洋子

【ご苦労様

でした!!】

平成十三年一月二十日付

用務員 味方玲子

中央仏教学院 公開講座のご案内

日時 3月8日(木)午後1時より午後2時30分

会場 西別院文化会館

内容 「浄土真宗のかなめ」

講師 中西智海先生 (中央仏教学院院長)

※この御縁に、日頃抱かれておられる疑問や不審などについて、ご講師に直接伺っていただければと思います。

興味のある方・関心のある方どなたでもご参加下さい。

西本願寺の 通信教育生 募集!

人生の地図を ポケットに!!

(気軽な感覚で 好きな時間に 心の勉強 そんな感じの通信教育 今、始まる新たな一歩です)

●入門課程 ●学習課程 ●専修課程 目標を決めて選べる各コースがあります。 ※詳しくは別院まで

中央仏教学院通信教育

春季彼岸会

※本院納骨堂及び台町墓地は、18日(日)より21日(水)までお勤め致します。

18日[日] 台町(常和台)彼岸会
◆昼1時30分より

◎法話
鷲山諦住輪番

19日[月] 本院彼岸会
20日[火] ◆晨朝/朝7時より
21日[水] ◆逮夜/昼1時30分より

◎布教使
鹿児島教区南隅組西寶寺
天野中道師

*20日[火](御中日)は本院にてラムネと団子をご用意しています。どうぞ御利用下さい。

お供物について のお願い

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所的美観を損ね、納骨堂においても生菓子・供花が腐乱する可能性があるため、お供物は読経(お参り)を終えられましたら、仏様からのおさがりの品々ですので、必ずその場でお食べになるか、持ち帰られますようお願いいたします。

お寺へ行こう

ようこそ常例布教へ

●三月十三日(火) 北海道教区函館組

十五日(木) 正光寺 高松周環氏

十六日(金) 親鸞大学[午後二時より]

●四月十三日(金) 北海道教区上川北組

十五日(日) 尊光寺 教重文雄氏

十六日(月) 親鸞大学[午後二時より]

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
ありがとうございました

●テレフォン法話順番表●

- 3月 4日(日)~3月10日(土)…脇坂
- 3月11日(日)~3月17日(土)…吉村
- 3月18日(日)~3月24日(土)…布教使
- 3月25日(日)~3月31日(土)…高倉
- 4月 1日(日)~4月 7日(土)…石黒
- 4月 8日(日)~4月14日(土)…毛利
- 4月15日(日)~4月21日(土)…平田
- 4月22日(日)~4月28日(土)…布教使
- 4月29日(日)~5月 5日(土)…上野

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ



0138 ^{にし} ^{にし} 27局 2424番

編集後記

▼昨年の十一月頃に気象庁の三ヶ月予報で、この冬は比較的暖冬になると発表されていた。しかしふたを開けてみると、平年並はおろか、十数年ぶりに不凍湖と言われている支笏湖までが凍ってしまうほどの寒気となった。自然というものは人間の力でははかり知ることができないものであることを再認識した。唯今は、春の訪れを待つばかり…。

学校法人



龍谷幼稚園便り



「冬の思い出 雪あそび」



お天気に恵まれた2月5日、
冬休み前に園長先生が
約束してくれた大沼雪まつりに
バスに乗って行ってきました。
「早くすべり台ですべりたいね。」と
行きのバスの中は大騒ぎでした。
会場に着くと子どもたちに大人気の
「ハム太郎」や「おじゃる丸」



「ポケモン」の雪像があり、みんな大喜びでした。
でも、一番人気はやはり大きな氷のすべり台です。
園長先生が下で受け止めてくれるので、
子どもたちはそれが嬉しかったようです。

楽しそうに何回もすべっている子どもたちの表情が印象に残りました。



とても楽しかったので、帰る時間になると
みんな名残惜しい様子でしたが、
どの子も楽しい時間を
過ごすことができたようです。

バスの中では
遊び疲れて眠ってしまう子や、
「楽しかったね。もっと遊びたかったね。」
とおしゃべりしながらの帰園でした。
また来年もみんなで行きたいね!!



平成
13年度

園児募集

Mr.クリスの
英語教室
やってま〜す

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を りゅうこくようちえん 龍谷幼稚園 です。
伝える宗教教育、それが



願書受付中



お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274